

家でも楽しく漢字を学ぼう!!

漢字が読めると文章が読めるようになります。文章が読めるようになると情報を取り入れることができます。情報が取り入れられると、知的好奇心が高まります。漢字はすべての学習の基礎になります。

学校でも「漢字音読名人」を使って、まずは学年の漢字が読めるようになることと漢字の使い方に慣れることを目指します。お家でもぜひ聞いてあげてください。

「漢字音読名人」のやり方

①ルビがついているページで音読練習を繰り返す。

※難しい言葉や熟語の意味を聞いてこられたら教えてあげてください。

※同じ漢字がくり返し出てくるので復習にもなります。

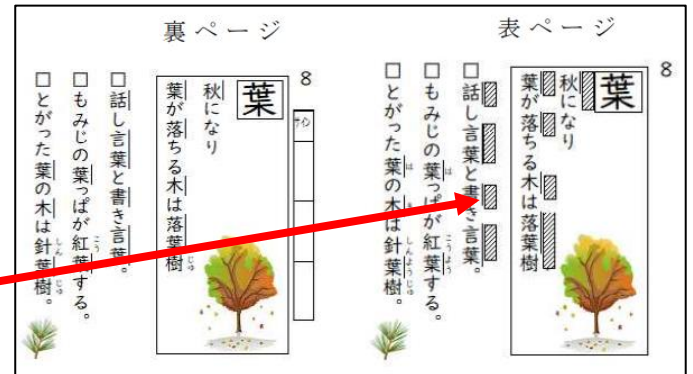
②読めるようになったルビをえんぴつでぬりつぶす。

※この作業がやる気を引き出す仕掛けです。

③読む自信がついたら、ルビが抜いてあるページを聞いてもらう。

※一対一の温かいふれ合いを育みながら、ルビがついているページを見て聞いてあげてください。

※学校で友だちと聞き合う活動を大事にしています。お家では合格のチェックをしないようご協力ください。



サイトにアクセスすると、こんな学習も・・・



←「楽しく学べる漢字の部屋」
flat-ohita-5712.thick.jp
昨年の休校中に紹介したサイトが
さらに使いやすく修正されました



桜谷小の国語の教科書は
「東書版」です。

一日一漢字(パワーポイント教材)

①漢字の原初の形から、漢字の成り立ちとその意味を知る。

②イラストも参考に、音読み・訓読みを知り、エピソード的に意味を理解する。

③その漢字を使った例文を読む。

④動画で筆順を確かめる。腕を大きく動かして筆順をなぞる。

※音声はありません。親子で漢字についてお話ししながら見ることをおすすめします。

自主学習で(例)

・習った漢字を使って、自主学習ノートに文章を書く。

※いい文章を書かせようとせずに、子どもが自由に書く文章を大切に、と考えています。

※習った漢字を主体的に使うので、漢字の定着度が、形式的な反復練習とは格段に違います。

・「漢字音訓カルタ」を印刷し、遊びながら、音読み・訓読みを覚える。

漢字を読むことに自信がつくことで、自然に、書く力も育ってきます。漢字を楽しく学ぶことを通して、子どもが自ら学び始めるきっかけづくりになることを願っています。



読み札はすべてルビつき。
取り札は、その学年以下の
ルビは抜いています。カード
を取って、正しく読めたら、
札がもらえます。